

VDC 療法を受けられる患者様へ

【治療スケジュール】

日 に ち	1 日 目	2 日 目
治療薬		
エンドキサン	●	
ドキソルビシン	●	●
オンコビン	●	

【点滴予定】

1 日 目					
	11～17 時 生理食塩液 500mL メイロン		11 時 グラニセトロン、デキサート ：吐き気止め		13 時頃 アプレピタクト 125mg 1 回 1 カプセル
	17～23 時 ソルデム3A 500mL メイロン ウロミテキサン		14～18 時 生理食塩液 500mL エンドキサン		14 時 生理食塩液 50mL ドキソルビシン (赤色の薬剤)
	23～5 時 ソルデム3A 500mL メイロン ウロミテキサン		17 時 グラニセトロン		14 時 生理食塩液 50mL オンコビン
2 日 目					
	5～11 時 ソルデム3A 500mL メイロン ウロミテキサン		7 時 グラニセトロン、デキサート		朝食後 アプレピタクト 80mg 1 回 1 カプセル
	11～17 時 生理食塩液 500mL メイロン				14 時 生理食塩液 50mL ドキソルビシン
	17～11 時 生理食塩液 1000mL		17 時 グラニセトロン		

3日目					
	11～17 時 生理食塩液 500mL メイロン		7 時 グラニセトロン、デキサート		アロピタクト 80mg 1 回 1 カプセル 1 日 1 回 朝食後
	17～11 時 生理食塩液 1000mL		17 時 グラニセトロン		
4日目					
	11～17 時 生理食塩液 500mL メイロン		7 時頃より グラニセトロン、デキサート		
	17～11 時 生理食塩液 1000mL		17 時頃より グラニセトロン		

点滴部位の痛みや腫れ、点滴が落ちにくいなどがあれば、すぐにナースコールして下さい。
 点滴の時間は、おおよその時間です。
 多少前後する事があります。
 ◎ドキソルビシンが鮮明な赤色をしており、治療後、排尿時に尿が赤くなることがあります。



おもな副作用

★★アレルギー反応★★

薬に対する過敏反応が起きることがあります。点滴中に、息苦しい、胸が痛い、心臓がドキドキする、顔がほてる、汗が出る、発疹が出る、などの症状があったら、すぐに知らせてください。

★★吐き気（悪心）・嘔吐、食欲不振★★

治療薬が、全身をめぐる、消化管（口、胃、腸）の粘膜や、脳の中樞を刺激することによって起こります。数時間後に始まることが多いようですが、人によって数日間続く場合もあります。つらいときは我慢せず、早めに言いましょう。

★★下痢、便秘★★ 便秘が多く、治療薬や吐き気止めの影響で起こります。いつもと違う排便状況であれば、早めにご相談ください。

★味覚障害★

★疲労感・倦怠感（だるさ）★

★出血性膀胱炎★

血尿や排尿時に痛みがあれば申し出てください。予防のために以下の点滴をします。

- ・ウロミテキサン→エンドキサンによる膀胱への障害をブロックします。
- ・メイロン→尿をアルカリ化することで、尿中への排泄を促します。
- ・ソルデム 3A、生理食塩液などの輸液：水分を負荷することで、尿量が増え、排泄を促し、膀胱への障害を防ぎます。

★心機能障害★

動悸や頻脈が起こったり脈がとんだりすることがあります。息切れや胸部痛があれば、相談してください。

★脱毛★

薬によって、髪が抜けるものと抜けないものがあります。また、髪の抜け方に個人差があります。治療後2～3週間あたりから毛が抜け始め、髪以外の部分（体毛・眉毛・陰毛）でも起こります。治療が終了して6～8週間後には毛が生え始め約半年でほぼ回復します。

★★骨髄抑制（白血球・ヘモグロビン・血小板の減少）★★

血液中の細胞成分は白血球・赤血球・血小板の3種類で、骨髄で造られ、化学療法の副作用により骨髄の機能が低下し減少します。

白血球・血小板は、7－14日で最も減少します。

	対 応
白血球(WBC) (好中球：NEUT)	白血球(好中球)は、細菌から体を守る働きをしていますので、白血球が低くなると体の抵抗力が弱くなり、感染症を起こしやすくなります。 マスクをしたり、手洗いやうがいをして感染を予防しましょう。 徐々に回復しますが、回復が遅い場合は G-CSF 製剤（早く血球を増やし、成熟させる薬）を使用することもあります。
ヘモグロビン (Hb)	赤血球の中のヘモグロビンは酸素を体中に運ぶ役割をしており減少すると、貧血の症状（動悸・めまい・息切れ・頭痛・倦怠感・立ちくらみなど）が現れます。ヘモグロビンが かなり下がると赤血球輸血をすることがあります。
血小板 (PL)	血小板は、血を止める働きがあります。血小板が5万より減少すると、出血しやすくなります。(血が止まりにくい・鼻血が出やすい・青あざがしやすい。)血小板がかなり下がると血小板輸血をすることがあります。

★★口内炎★★

口の中・歯肉・咽頭がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状が出ることがあります。こまめなうがいを心がけ、口の中を清潔に保つよう心がけましょう。

★★間質性肺炎★★

空咳・息苦しさ・息切れ・発熱等の風邪のような症状がでた時は、すぐに医療スタッフに伝え下さい。

上記のような副作用が主に挙げられますが、必ずこれらの副作用が起こるわけではなく、個人差があります。

副作用をおさえる薬もありますので、気になることがあれば何でも相談してください。

